

( 図中の文字 )

二枚に接木して其名を更させ

大空の光り雨露の

御恵みをねかひ奉りて

春の雨幾千代育つ松の艶 中村慶子

ふつゝかなる身に

おこかましくも

御ひみきをたゞく願上るに

飛ひ習ひする雀子や竹の中 中村大吉

こむなのも苔の数か枝の梅 中村仲蔵

二人の媒めてたく結おさめて

春風の吹おさまるやまつ枝 尾陽中村津多右衛門

異口同音に歡をのふ

気の揃ふ囀りやふや百千鳥 門弟中

ふたりの名開を祝ひて

梅桃に春やとゝのふ兄妹 市川白猿